



春日井ロータリークラブ 2011~2012 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

仲間を増やし、 思いやりの心を育もう

会長：風岡 保広 例会日：金曜日 12:30~13:30
副会長：清水 勲 例会場：ホテルプラザ勝川
幹事：北 健司 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
会報委員長：志水ひろみ TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



東京都議会議長賞

東京朝顔研究会

本日のプログラム

- ・点 鐘 司会 加藤久仁明君
- ・国 歌 風岡 保広君
- ・ ROTARY SONG 「君が代」
- ・ ビジター紹介 「日も風も星も」
- ・ 食事・歓談 風岡 保広君
- ・ 委員会報告
- ・ 会長挨拶 風岡 保広君
- ・ 卓 話 中島 泉君 加知 康之君
- ・ 幹事報告 北 健司君
- ・ 点 鐘 風岡 保広君

2011 年9月2日(金)第2060回(9月第1例会)

私自身還暦を過ぎたあたりから記憶力といいますが、特に人の名前、地名、日にちなどがすぐに思い出せないということが、日常茶飯事でございます。昨夜はなにを食べたかということがすぐに思い出せる方は、相当立派な頭脳をお持ちだと思います。

そういうことで、ずうっと昔のことは、結構記憶に残っておりますが、ちょっと前の出来事が記憶に残らないという現象でございます。人間の記憶力というものは、年とともに減少してきます。

今、皆さんの記憶にある一番古い記憶を思い出していただきたい。ある人は、5歳ぐらいの楽しかった記憶が一番古い記憶だという方がおみえかもしれません。ある人は、3歳ぐらいのとき兄弟と遊んだ楽しい思い出があるという人もおいでだと思います。

そこで、私の一番古い記憶はどこにあるだろうと考えて見ますと、昭和19年12月生まれですから、昭和20年の終戦の日とか、戦争というのは全く記憶にありません。初めて、私の記憶に出てくるのが山里の小川でカニ(サワガニ)を取っている姿が、私の中で一番古い記憶のような気がいたします。今日は、わたくしの原点をお話しました。次回から、私の66年の生い立ちをお話したいと思います。

先週の記録

会長挨拶 会長 風岡保広君

たまたま、お盆休みでテレビを見ておりましたら、「証言記録・太平洋戦争」という番組を放映しておりました。内容は、昭和12年頃より日本がいかんして戦争に突入していったか、というところから、昭和20年の終戦までを8時間ほどにまとめて放映されておりました。

この記録映画の中で、90歳前後かたがたが、当時の戦闘状況を克明にお話されておりましたが、70年近くまえのこととは思えないほど鮮明に記憶されておりました。最後には広島と長崎にバクダンが落ちて、終戦を迎えましたが、この広島と長崎だけで、30万人、戦争全体では300万人が犠牲になったと言われております。そういった意味から戦争は2度としてはいけないものだ改めて痛感いたしました。

今日は、この高齢者の記憶力についてお話をしたいと思います。

幹事報告 幹事 北 健司君

- ① 地区クラブ奉仕委員長会議開催案内
日時：2011年9月7日(水)
場所：名鉄ニューグランドホテル
出席者：山田クラブ奉仕委員長

新世代のための月間

例会	9月9日(金)	9月16日(金)	9月23日(金)	9月30日(金)
予定	祝福 卓話 田村園心住職 春日丘インタークラブ活動報告	例会変更 12:30 座禅例会 密蔵院	休会	卓話 和田 了司君

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

◎例会変更

愛知長久手 RC	9月13日(火) 9月13日(火) 例会会場都合の為ござらっせ
岡崎南 RC	9月13日(火) 9月11日(日) 6:00~ 菅生川清掃の為 菅生川
あま RC	9月12日(月) 家族会の為
名古屋南 RC	9月13日(火) 9月17日(土) 補助金事業の為フットサルアリーナ
江南 RC	9月15日(木) 9月15日(木) 19:00~ RAC 合同例会の為 商工会館
名古屋丸の内 RC	9月15日(木) 9月15日(木) 18:30~ 夜間例会の為クレストンホテル
尾張中央 RC	9月7日(水) 9月7日(水) 12:30~ 例会会場都合の為 商工会館
多治見リバーサイド RC	9月13日(火) 9月13日(火) RAC 合同例会の為 神谷
尾張旭 RC	9月16日(金) 9月17日(土) 18:30~ 月見例会の為 良福寺

出席報告

委員長 蓮野 美廣君

会員 51名	欠席 16名	出席率 79.5%
先々週の修正出席	欠席 0名	出席率 100%

ニコボックス報告

委員長 中川 健君

○卓話やらさせていただきます。 場々大刀雄君
 ○場々さん 卓話をよろしく!! 近藤 太門君
 ○会員増強月間です。会員候補者の紹介をお願いします。 小島 啓治君
 ○清水屋4階の写真展にどうぞいらっしやっ下さい。 宅間 秀順君
 ○写真展初めて展示してもらいました。入賞した気分です。ありがとう。 亀谷 鉦一君
 ○いつもホテルをご利用ありがとう。写真展に来てね。 早川 八郎君
 ○場々さんの卓話が聞ける喜びで。写真展開催しています。ご覧下さい。 北 健司君
 ○卓話を聞く喜びで。 風岡 保広君
 足立 治夫君 浅井 瀧治君 蓮野 美廣君
 林 鑛三君 林 憲正君 林 徹君
 加知 康之君 加藤久仁明君 加藤 茂君
 成瀬 浩康君 大橋 完一君 太田 弘道君
 志水ひろみ君 清水 勲君 杉山 孝明君
 社本 太郎君 高橋 理江君 峠 テル子君
 塚本 兼光君 和田 了司君 屋嘉比良夫君
 山田 治君 貴田 永克君
 ○いつもニコボックスをご利用ありがとうございます。 中川 健君

卓話

場々大刀雄君

今、NHK の朝のドラマの「おひさま」が安曇野を舞台にしております、また、私は、安曇野出身である関係上少しばかり安曇野、穂高についてお話をしたいと思います。安曇野市は長野県南安曇郡の穂高町と豊科町とが合併して出来た市ですが、穂高町としては反対でした。しかし、押し切られ、地名は、安曇野市穂高となりました。今回以前にも合併騒ぎがありまして、それは穂高町と、周辺の村との合併であって、私の村は有明村でしたが、穂高町有明となりました。ドラマ「おひさま」の主人公の勤め先の小学校は有明山小学校となっておりますが、私が通った尋常小学校は村立有明小学校でした。この有明山は、山の名前であり、村の西方にあって富士山の形をしており、信濃富士とも呼ばれておりました。その奥に、大天井、燕岳が何時も雪をかぶった雄姿を見せております。時々、田舎へ帰ると全く同じ山々が私を迎えてくれます。廻りの景色はその都度変わって居りますが、このアルプスだけは、昔から変わっておりません。これらの山々を見ると故郷へ来たな一と思わされる一瞬でした。

今は、安曇野と言いますがこれは穂高町を意味しております。この穂高は最も低い場所でありアルプスの深い溪谷をかけ下った水の流れによって造られた扇状地であって常念岳から流れ出た烏川と、燕岳、大天井岳、有明山から流れ来る中房川とが運んで来た土砂が堆積して造られた広大な扇状地の里でした。地下水もアルプスの伏流水として冷たい澄んだ水が山葵畑を潤して下ります。この山葵から作られる山葵漬は、静岡産が一寸いがらっぽい味が致しました。その為、以前は穂高産を輸入して、混ぜて東京方面へ出荷しておりました。穂高の山葵は主に京都へ送られておりました。民謡安曇節の一節に「一夜穂高の山葵となりて京の小町を泣かせたや」と歌われて居ります。また、穂高には、多くの川が集中しております。松本市の西側を経由してくる奈良井川この川は、木曾の鳥居峠を分水嶺として南へ流れる木曾川北へ流れる奈良井川、これに松本の北側で合流するのが梓川槍ヶ岳の富山県側に降った雨が高瀬川となり大町を経由して、穂高へ長野県側の雨は上高地を経て梓川となります。常念岳より流れ出る川が烏川、大天井、燕、有明山より流れ来る、中房川。この5河川が、穂高の東、押の崎で合流して犀川となり佐久方面から流れ来る千曲川と長野市で合流し、千曲川のまま新潟県へ入って信濃川となり日本海へ注ぎます。穂高におけるこれ等の川の合流地点押の崎の堤防には「早春賦」の歌碑があります。吉丸一昌の作詞です。安曇野を舞台に作詞したのと言われており、安曇野との出会いは大町中学(旧制)校歌の作詞依頼に始まると言われ大正2年の作であります。

さて、穂高を語る時、次の4人は外すことはできません。相馬愛蔵、相馬黒光、井口喜源治、

荻原礫山です。相馬愛蔵は穂高で菓子屋を営んでおり、その代表的なものが「もといちぼう」といって鉛筆くらいの太さのオレンジ色のかりんとうでよく売れておったようです。これが新宿の中村屋のかりんとうの原点かと思われます。また、彼は、クリスチャンでありましたから周りの人々からは間をとられておりましたが、地域の為には熱心でありました。その当時、信州に最も適しておった養蚕を年に2度(春、夏)しか収穫の無かったものを、春、夏、秋、の3回にわたってやれるように技術改良をし、これによって我が国の養蚕業はたちまち倍加の勢いとなりました。

この頃学校の教師をしていた井口喜源治(クリスチャンで、禁酒会々員)は、教師たちの保守的横暴さに嫌気を指し、教師を止めて「研成義塾」と呼ばれる小さな塾を開きましたが、それは校舎1棟で設備らしきものは1つもない教師1人で30人ばかりの生徒に何科目か教えて昭和7年まで35年間に送り出した卒業生が700人に及びました。生徒が受けた教育は、小学校と現在の中学、高校に当たる補習科の幅広い範囲に及び、英語・漢文も教えられました。開塾当時内村鑑三を感激させ次のように言わせていました。「この小義塾の成立を聞いて余は有明山の巍々たる頂を望んだ時よりも嬉しかった。群費にも村費にも頼らない私塾を立てんとの大胆なる聖望は井口喜源治氏なる小学校教師の心に起こった。機械的ならずして精神的自由的なる教育を施さんと欲するものがこの若き先生の目的である。彼を授けて彼と同じ志を持つ百姓や町人があい集まって、小額の金を集め純粋な独立学校がかなった私立学校といえ、同志社や青山学院などのように外国の伝道者や、女子大のように貴顕紳士の援助によって成るものがあるが、安曇の研成義塾は小なりといえども、全く平民と日本人との力によりて成りし学校である。余小にして大なるこの義塾を信州の地において発見して心ひそかに信州万歳を絶叫せざるを得なかった」と、また、相馬愛蔵は言った「天下に君を入れる学校は恐らくあるまい。君を入れる学校それはただ一つ君自身の学校だ。我々はどこまでも援助する」と言い援助を続けた。かくしてこの私塾は35年続いた。ついに少なくなった生徒数の為、私財を売りさばき、その上10人のわが子をかかえた妻の農事に頼らざるを得なかった。のちに県や郡が功績を認め、補助金を出そうとしたが、それは自由な教育が出来ないからと断り、ついに閉塾と成りました。彼のキリスト教に基づく不屈の精神と特色ある教育によって育てられた生徒の成長は目覚しく他の学校には見られない優れた人間が生み出されました。

今は、穂高駅の東側へ5分くらいの場所に井口記念館があります。あまり人の出入りはないようです。相馬愛蔵は、東京専門学校(今の早稲田大学)に学び、キリスト教の洗礼を受けました。そんな愛蔵のキリスト教的ヒューマニズムに共感をもつ

て嫁いできたのが仙台生まれの黒光でした。しかし、激しい気性の黒光には田舎の旧家の嫁ごんの立場には耐え切れず病気になってしまいました。ついに愛蔵は妻を伴って上京し、第二の人生を踏み出したのでした。二人は、東大の赤門前の中村屋と言うパン屋を手に入れてパン屋としての生活が始まったわけですが、それが当たりましてやがて新宿駅の東口の近くに中村屋の居を移し大成功を収めたのでした。この中村屋へは、相馬夫妻の人柄に惹かれて、多くの人々が集まって来ていつの間にか夫妻を中心にした「中村屋サロン」なる文化グループが形作られました。文学者、美術関係者、外国人も混じり、ヨーロッパの近代文化形成に大きな役割を果たしたサロンは、中村屋ただ一つだけだったようです。黒光はロシヤ文学研究のためロシヤ語を話せたのでロシヤ革命のため亡命してきたロシヤ人もよく訪れました。このときロシヤパン、ロシヤチョコレートも売り出されました。また、インド独立運動の闘士ボースをかくまったのも相馬夫妻でした。後にインド式カレーも売り出されました。このサロンの中には、女優、水谷八重子、夏川静江がおり、商人には岩波書店を開いた岩波茂雄が居ました。こんな夫妻に子供の頃から援助を受けて、絵の勉強をしていたのが荻原守衛でありました。彼が絵から彫刻に移ったのは、アメリカからフランスへ渡りロダンの「考える人」を見た時からであり、礫山彫刻はこのロダンとの出会いによって実現したのでした。彼は、帰国後子供の頃からあこがれていた黒光への愛に苦悶しており、クリスチャンとしての彼の潔癖さがその募る愛情を抑えておりました。これを理解していた黒光は、その悶えを作品制作に転化したらと勧めたのでした。彼は「文覚」を題材にとってそれに偽りない苦悩を託そうとしたのがこの作品でした。しかし、最初全身像を作ろうとしたがミケランジェロの「奴隷」に似てしまったので、下半身を切り捨ててしまいタッチの荒い運慶風の上半身の像でした。文展で三等賞に入選したが、同時出品の「抗夫」は眼がないので未完成として、落選しました。友人の高村光太郎はこの作品を高く評価していたので、この落選を聞きひどく憤慨したそうです。作品中「労働者」特に「女」は礫山の全作品の中だけでなく、当時の最高傑作であると言われていますが、矢張りこれも黒光への愛情が断ち切れずこの感情を造形のなかに反映しようと苦しんで造られたと言われていまず。「抗夫」「文覚」「女」によって彼は、ロダンの作風を超えて日本人として日本の「女」を造ったのでした。この時ロダンは「オギワラは自分の彫刻を造り上げた」と語っております。しかし、全力を出し切った彼の眼の前にあったものは死でした。32歳の短い生涯でした。作品はわずかですがそれらを収蔵した建物が穂高駅北方10分位の場所にたたずんでおります。鳶の絡まった欧風の煉瓦建築がそれです。